

# ワケ カタチには理由がある(ワケ)

Shape follows Function & Taste

## ～レジジャーネ Re2000 ファルコ(Falco)



[↑ 競作となった Me200 と]

本機は、1939年に初飛行した、イタリア空軍の戦闘機です。フィアット G50、マッキ Mc200 と競作となりました。マッキ Mc200 より性能は良かったと言われますが、防弾装備が劣る等の理由から、結局イタリア空軍用での使用機は 22 機のみで、輸送船に取り付けたカタパルトから発進するという英国の CAM シップのような使われ方をしました。しかしながら、スウェーデンには 60 機が輸出され、ハンガリーへは 10 機の輸出に加えて 90 機がライセンス生産され、エンジンを換装した、オリジナルの機体へーヤも生まれています。故佐貫亦男先生が、その著書『続ヒコーキの心』(光人社NF文庫)で、この機体を「小雷電」と呼んでいます。この雷電とは、日本の局地戦闘機のことではなくて、米国の P-35 や P-47 のリパブリック系の機体のことで、食卓ナイフの先端のような楕円形主翼はよく似ています。

### 【模型について】

チェコのレガト (LEGATO) の 1/72 の簡易インジェクションキットです。エンジンカウリングなどはレジパーツになっていますが、ただ、機体に繊細なところがなく、地味な単色塗装と相まって見せるところが無い作品になってしまいましたw。(中川裕幸 2022年10月)